

講座名	口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室	
主任教授	福田 謙一	
プログラム責任者名	福田 謙一	
プログラム修了時に資格要件を 満たす学会認定医等の名称	日本障害者歯科学会認定医(最短4年で取得可能)	
プログラムの特色		
<p>口腔健康科学講座は、障害者歯科・口腔顔面痛研究室、摂食嚥下リハビリテーション学研究室、スポーツ歯科学研究室内の4つの分野及び3つの研究室を複合した大変ユニークな講座です。それぞれが新しくこれからの研究分野です。それぞれの分野がコラボレーションした興味深い研究、診療を推進しています。4つのコースがありますが、希望によって様々なアレンジが可能です。本人の努力によって、数多くの認定医の取得が可能です。</p> <p>2. 障害者歯科スペシャリスト養成コース 特に小児障害者診療を中心に研修するコースです。麻酔薬を応用しない行動療法や要介護者の口腔ケアなどのスキルを修得します。</p>		
プログラムの内容(障害者歯科学会認定医)		
入局後	大学院生	臨床専門専修科生・レジデント
1年目	<p>研究:研究テーマの決定・予備実験 臨床:行動療法の修得, 簡単な症例への対応 臨床技能の研修: 口腔ケア処置(ロールプレイ) 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 障害者に対する治療方針の立案, 注意点 症例検討会(随時)</p>	<p>臨床:行動療法の修得, 簡単な症例への対応 臨床技能の研修: 口腔ケア処置(ロールプレイ) 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 障害者に対する治療方針の立案, 注意点 症例検討会(随時)</p>
2年目	<p>研究:予備実験,本実験開始, 臨床:静脈内鎮静, 全身麻酔が必要な治療への対応 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 症例検討会(随時)</p>	<p>研究:臨床研究テーマの決定, 臨床:静脈内鎮静, 全身麻酔が必要な治療への対応 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 症例検討会(随時)</p>
3年目	<p>研究:本実験,学会発表 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 症例検討会(随時)</p>	<p>研究:データ収集 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 障害者に対する治療方針の立案, 注意点 症例検討会(随時)</p>

<p>4年目</p>	<p>研究:論文作成, 学位申請 日本障害者歯科学会認定医申請資格取得</p>	<p>研究:データ収集・学会発表 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 症例検討会(随時) 日本障害者歯科学会認定医申請資格取得</p>
<p>5年目</p>	<p>研究:継続研究の開始 臨床:咬合の再構成が必要な症例への対応 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 症例検討会(随時)</p>	<p>研究:論文作成 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 症例検討会(随時)</p>
<p>6年目以降</p>	<p>研究:継続研究 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 症例検討会(随時)</p>	<p>研究:継続研究の開始 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 障害者センターの臨床見学 病院歯科における口腔ケアの見学 知識の研修: 症例検討会(随時)</p>

- 本務教員で認定医等の有資格者  
(指導医・専門医・認定医等の複数の資格の場合には最上位の資格のみを記載)

<p>日本障害者歯科学会</p>		
<p>指導医:大多和由美</p>	<p>福田謙一</p>	
<p>認定医:野口智康</p>	<p>太田雄一郎</p>	<p>國奥有希</p>
<p>日本小児歯科学会</p>		
<p>指導医:大多和由美</p>		